【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和6年8月20日(2024.8.20)

【国際公開番号】WO2022/035970
【公表番号】特表2023-537600(P2023-537600A)
【公表日】令和5年9月4日(2023.9.4)
【年通号数】公開公報(特許)2023-166
【出願番号】特願2023-510340(P2023-510340)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ 45/06(2006.01)
Ａ６１Ｐ 35/00(2006.01)
Ａ６１Ｐ 43/00(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/7068(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/17(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/4545(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/497(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/522(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/5377(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/506(2006.01)
Ａ６１Ｋ 39/395(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/517(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ 45/06
Ａ６１Ｐ 35/00
Ａ６１Ｐ 43/00 １２１
Ａ６１Ｋ 31/7068
Ａ６１Ｋ 31/17
Ａ６１Ｋ 31/4545
Ａ６１Ｋ 31/497
Ａ６１Ｋ 31/522
Ａ６１Ｋ 31/5377
Ａ６１Ｋ 31/506
Ａ６１Ｋ 39/395 Ｎ
Ａ６１Ｋ 39/395 Ｔ
Ａ６１Ｋ 31/517

【手続補正書】
【提出日】令和6年8月9日(2024.8.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
腫瘍または腫瘍細胞における複製ストレスを誘導するのに十分な量の複製ストレス経路薬剤（ＲＳＰＡ）、および、対象の前記腫瘍または前記腫瘍細胞を処置するための薬剤の調製における使用のためのがん標的治療剤であって、
前記腫瘍または前記腫瘍細胞は、ｅｃＤＮＡシグネチャを有し、前記ｅｃＤＮＡシグネ

チャは、がん遺伝子の遺伝子増幅を含み、前記がん標的治療剤は、前記がん遺伝子のタンパク質産物を標的とし、前記腫瘍の成長またはサイズ、あるいは、前記腫瘍細胞の成長または数が減少する、ＲＳＰＡおよびがん標的治療剤。

【請求項２】

前記ｅｃＤＮＡシグネチャは、ｐ５３の機能喪失型変異、微小サテライト不安定性（ＭＳＩ－Ｈ）が存在しないこと、低レベルのＰＤ－Ｌ１発現、低レベルの腫瘍燃焼シグネチャ（ＴＩＳ）、低レベルの腫瘍遺伝子変異量（ＴＭＢ）、アレルの置換、挿入、もしくは欠失（インデル）の頻度の増加、または、これらの任意の組合せをさらに含む、請求項１に記載のＲＳＰＡおよびがん標的治療剤。

【請求項３】

前記腫瘍または前記腫瘍細胞は、前記がん標的治療剤の投与後に前記ｅｃＤＮＡシグネチャを発現させる、請求項１または請求項２に記載のＲＳＰＡおよびがん標的治療剤。

【請求項４】

前記腫瘍または前記腫瘍細胞は、前記がん標的治療剤の投与前に前記ｅｃＤＮＡシグネチャを発現させる、請求項１または請求項２に記載のＲＳＰＡおよびがん標的治療剤。

【請求項５】

前記がん標的治療剤は、ＡＢＣＢ１、ＡＫＴ、ＡＬＫ、ＡＲ、ＢＣＬ－２、ＢＣＲ－ＡＢＬ、ＢＲＡＦ、ＣＤＫ４、ＣＤＫ６、ｃ－ＭＥＴ、ＥＧＦＲ、ＥＲ、ＥＲＢＢ３、ＥＲＢ２、ＦＡＫ、ＦＧＦＲ１、ＦＧＦＲ２、ＦＧＦＲ３、ＦＧＦＲ４、ＦＬＴ３、ＧＲ、ＨＲＡＳ、ＩＧＦ１Ｒ、ＫＩＴ、ＫＲＡＳ、ＭＣＬ－１、ＭＤＭ２、ＭＤＭ４、ＭＴＯＲ、ＭＹＣ、ＭＹＣＬ、ＭＹＣＮ、ＮＲＡＳ、ＮＲＧ１、ＮＴＲＫ１、ＮＴＲＫ２、ＮＴＲＫ３、ＰＤＧＦＲ、ＰＩＫ３ＣＡ／Ｂ、ＰＩＫ３Ｃδ、ＲＥＴ、およびＲＯＳ１からなる群から選択される遺伝子を標的とする、請求項１～４のいずれか一項に記載のＲＳＰＡおよびがん標的治療剤。

【請求項６】

増幅がｅｃＤＮＡ上に存在する、請求項１～５のいずれか一項に記載のＲＳＰＡおよびがん標的治療剤。

【請求項７】

前記対象は、以前に前記がん標的治療剤による処置を受けたことがない、請求項１～６のいずれか一項に記載のＲＳＰＡおよびがん標的治療剤。

【請求項８】

前記腫瘍または前記腫瘍細胞における前記ｅｃＤＮＡの増加を防止する、請求項１～７のいずれか一項に記載のＲＳＰＡおよびがん標的治療剤。

【請求項９】

前記腫瘍または前記腫瘍細胞は、前記がん標的治療剤および前記ＲＳＰＡによる処置の前に、従来の治療剤に対し耐性を有しているか、または、有していない、請求項１～８のいずれか一項に記載のＲＳＰＡおよびがん標的治療剤。

【請求項１０】

前記対象は、以前に前記従来の治療剤による処置を受けている、請求項９に記載のＲＳＰＡおよびがん標的治療剤。

【請求項１１】

前記ｅｃＤＮＡシグネチャは、前記腫瘍または前記腫瘍細胞の処置の開始前に把握される、請求項１～１０のいずれか一項に記載のＲＳＰＡおよびがん標的治療剤。

【請求項１２】

前記ＲＳＰＡは、ＲＮＲ阻害剤、ＡＴＲ阻害剤、ＣＨＫ１阻害剤、ＷＥＥ１阻害剤、およびＰＡＲＧ阻害剤からなる群から選択される、請求項１～１１のいずれか一項に記載のＲＳＰＡおよびがん標的治療剤。

【請求項１３】

前記ＣＨＫ１阻害剤は、ＧＤＣ－０５７５、プレキサセルチブ、ＬＹ－２８８００７０、ＳＲＡ７３７、ＸＣＣＳ－６０５Ｂ、ラブセルチブ（ＬＹ－２６０３６１８）、ＳＣＨ

－９００７７６、ＲＧ－７６０２、ＡＺＤ－７７６２、ＰＦ－４７７７３６、およびＢＥＢＴ－２６０からなる群から選択される、請求項１２に記載のＲＳＰＡおよびがん標的治療剤。

【請求項１４】

前記ＷＥＥ１阻害剤は、ＡＺＤ１７７５（ＭＫ１７７５）、ＺＮ－ｃ３、Ｄｅｂｉｏ０１２３、ＩＭＰ７０６８、ＳＤＲ－７９９５、ＳＤＲ－７７７８、ＮＵＶ－５６９、ＰＤ０１６６２８５、ＰＤ０４０７８２４、ＳＣ－０１９１、ＤＣ－８５９／Ａ、ボスチニブ、およびＢｏｓ－Ｉからなる群から選択される、請求項１２に記載のＲＳＰＡおよびがん標的治療剤。

【請求項１５】

前記がん標的治療剤は、アベマシクリブ、アドトラスツズマブエムタンシン、アファチニブ、アレクチニブ、ＡＬＲＮ－６９２４、ＡＭＧ２３２、ＡＭＧ－５１０、アパチニブ、ＡＲＳ－３２４８、ＡＸＬ１７１７、ベバシズマブ、ボルテゾミブ、ブリガチニブ、カボザンチニブ、カプマチニブ、セリチニブ、セツキシマブ、ＣＧＭ０９７、クリゾチニブ、ダブラフェニブ、ダコミチニブ、ダサチニブ、ＤＳ－３０３２ｂ、エンコラフェニブ、エントレクチニブ、エルダフィチニブ、エルロチニブ、エベロリムス、ファムトラスツズマブデルクステカン、フィギツムマブ、ゲフィチニブ、ゴシポール、ＨＤＭ２０１、イダサヌトリン、イマチニブ、インフィグラチニブ、イニパリブ、ラパチニブ、ラロトレクチニブ、ＬＥＥ０１１、レンバチニブ、ＬＧＸ８１８、ロルラチニブ、ＭＥＫ１６２、ＭＫ－８２４２、ＳＣＨ　９００２４２、ＭＲＴＸ８４９、ナビトクラックス、ネシツムマブ、ニロチニブ、オバトクラックス、オラパリブ、ＯＳＩ－９０６、オシメルチニブ、パルボシクリブ、パニツムマブ、ＰＤ－０３３２９９１、ペリソフィネ、ペルツズマブ、ＰＬ２２５Ｂ、レポトレクチニブ、リボシクリブ、ＲＯ５０４５３３７、サリノマイシン、サリラシブ、ＳＡＲ４０５８３８　ＭＩ－７７３０１、ソラフェニブ、ソトラシブ、スニチニブ、タモキシフェン、テムシロリムス、チピファルニブ、チバニタブ、トファシチニブ、トラメチニブ、トラスツズマブ、ツカチニブ、ＵＰＲ１３７６、ＶＡＬ－０８３、ベムラフェニブ、ビンタフォリデ、およびゾプタレリンドキソルビシンからなる群から選択される、請求項１～１４のいずれか一項に記載のＲＳＰＡおよびがん標的治療剤。